

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

開催月日	令和6年7月24日(水)		
開催時間	10:00~13:00		
開催場所	豊島区東池袋1丁目42-8 第一イン池袋		
主催者	(株)廣瀬行政研究所		
研修会等の名称	地方議会セミナー(農業DXの現在位置)		
講師等の氏名等	元農林水産省スマート農業推進担当/スマートアグリLLC代表 渡邊智之 氏		
内容・結果等	<p>農業DXの現在位置 農業エバンジェリスト(一人産官学+農連携)</p> <p>1. なぜ今、農業DXが必要なのか 農家数220万人→120万人 農業は「かっこよく・稼げて・感動があるものに」(3K) 2000年389万人→20019年118万人 65歳以上70.2%平均年齢66.8歳 岐阜県「スマート農業推進計画」佐賀県スマート農業推進方針 若手新規就農者減(49歳以下の新規就農者の推移) 高齢化:農業の一番の課題は試行錯誤や創意工夫が収益に反映されない IT機器を経営に利用しようと思わない理由82.8% スマート農業推進総合パッケージ 海外への展開が重要 日本の技術は 海外で展開(ドバイetc)どこで作ってもok made by Japan スマートサポートチーム(新技術を積極的に取り入れる産地の支援) →産地への個別サポートへの支援・みどりの食料戦略と環境保護を取り入れる 今年度の農水省予算:スマート農業普及のための環境整備 ○農業教育支援 スマート農業とは、「賢い農業」データを次の一手を生む資料。 ITはリスク最低限にし最大限の収入を得ることと同時に→ブランド化 ○事業継承に役立つこと・農業DX=農業をデジタル技術で変革する(役所)</p> <p>3. 農業DXには「経営理念・事業ビジネスが不可欠」 UECS(環境情報を遠隔監視・自動制御)=温室の遠隔監視(施設・路地センシング)</p> <p>4. 農業DXで農家の経験と勤をデータ化し、事業承継につなげるデータ作成 大規模化の進展に伴い、経験と勤による農業は困難になり未曾有のリスクが</p> <p>5. 農業DXのよって農協も生まれ変わる!農協のアドベンチャーラボを活用する 経営ビジョンが不可欠→事業承継のためスマート農業のターゲット JAアクセラレーター 総務省の地域情報化アドバイザーを活用</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	出席者負担金		0
	会費		0
	旅費		0
	宿泊費		0
	合計	別紙明細	0

(様式3-1) 研究研修活動記録票(研究会、研修会開催又は参加に要する経費)

嬉野市議会議員

芦塚 典子

開催月日	令和6年7月24日(水)		
開催時間	14:00~17:00		
開催場所	豊島区東池袋1丁目42-8 第一イン池袋		
主催者	(株)廣瀬行政研究所		
研修会等の名称	地方議会セミナー(農業DXの将来像)		
講師等の氏名等	元農林水産省スマート農業推進担当/スマートアグリLLC代表 渡邊智之 氏		
内容・結果等	<p>農業DXの将来像。</p> <p>1. なぜこれからの農業に情報武装が必要なのか？ 農業事業者もガバナンスを持つ 1. リスクの責任は結局農家になる。 2. 諸外国から入る農産物は関税で検査 3. 日本の農作物はどこでチェック？ 4. 日本の農作物が外国流出。3617件:1億円(農産物盗難被害) リスクが大きい:盗難、天候 5. 諸外国から安心・安全な物が入る。 情報武装してリスクから守る。 シェアリング→シュミレーション→ナレッジ・ノウハウ→クオリティ・コントロール</p> <p>2. 日本人の農法をブランドに 「日本の技術」これが金になる:「匠の農業技術」を知財に ミカンジュース(早和果樹園)ジュース500ml3500円~5000円みかんも売れる 観察→ヒアリング→会議→標準化(明文化) 農業界のブランド=約束 →(生産方法)(品質)(コスト)=コントロール→ブランド(熊本:八条トマト) 農業生産法人(株)GRA みやきイチゴ(ダイヤモンドマーク) GI(夕張メロン)GEOGRPHICAL INDICATION(品質、GLOBALG. A. P(農水省) 消費者庁(機能性表示食品:高リコピントマト、低カリウムレタスetc) 成分検査をする→ブランド化する(物語だけで食べている。違う) 生まれ変わるためにもGAPは重要・イオン(きちんとした農家だけ取引) リスクにタイムリーな対処ができない→農業+データ分析ができる人材が必要 「アグリデータサイエンサーが必要」作業データ→環境データ→選果データ 「スマートファーマー」の育成「農業ビジネスマン」(コストを常に管理する。) 4. 次世代食・農情報流通基盤(スマートフードチェーン)→物流を最低限にする 5. 「リアル×バーチャル」の新しい農業の形 農業界のビッグデータの活用:営農に必要な判断 コスト分析(例:キャベツ)</p>		
上記活動に要した経費	経費の内容	支払先	金額(円)
	出席者負担金		0
	会費		25,000
	旅費		38,740
	宿泊費		8,075
	合計		71,815